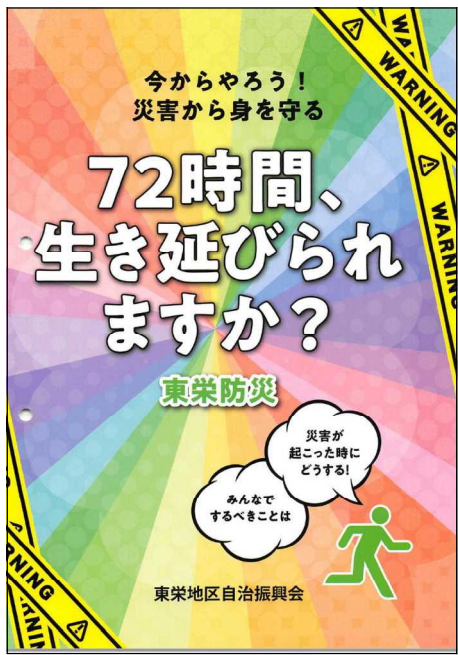


東栄防災情報誌、加除式で改定に対応 「準備しておがねまねのお」



れます。

東栄小学校の防災マニュアルもあり、ハザードマップは視覚に訴え、ビジュアルに工夫されています。

資料編では、避難所の見取り図と備品、覚えておいて助かった豆知識と応急手当、役に立つロープの結び方、災害年表など、豊富に揃っています。

全61ページで充実しており、加除式になっているため、いつでも新しく改定できるなど、アイデアも魅力的です。地区内の住民の協力で作成されました。

藤島地域の東栄地区自治振興会（叶野明美会長）ではこのほど、「東栄防災情報誌」（防災ハンドブック）を作成し、地区内の全戸に配布しました。

「連絡先と家族の情報 書いておがねまね話し言葉で惹きつけら

←日本共産党のはてなリーフから⑧

改革の進め方

選挙の審判ふまえ、
一步一步

エスカレーター式ではない

共産党を政権に入れたら、知らぬまに共産主義に？ まったくのデマです。●社会の発展は、階段をあがるように一段一段とすすむ。●その階段をあがるかどうかは、選挙でしめされた主権者=国民多数の意思で決める——私たちのゆるがぬ方針です。

「国民が主人公」をつらぬいて

「(日本共産党は) 彼らの意思より国民の判断を上位に置いている」(作家・中村文則氏 2021年12月2日付「毎日」)——私たちは、日米安保条約や自衛隊はもちろん、社会主義・共産主義もふくめて、選挙での国民多数の判断をふまえて、改革の階段をあがることを大方針にしています。

どんな場合も平和的・合法的に

日本共産党は、「暴力革命」とまったく無縁です。公安調査庁が60年以上調べても何もでてこないことが証拠です。私たちは、どんな場合でも、平和的・合法的な方法で社会を変える党です。

くわしくは
共産党の綱領に

パンフレット
「JCP MANIFESTO」



藤沢周平を読む31

鈴木重雄（八色木）

ふくは大奥の勤めで江戸に行った。断絶は免れたが、家禄を4分の3減らされ、普請組は免じられた。

文四郎は生きがいを見失いそうになるが、剣と勉強に励んだ。やがて次席家老の里村左内から、家を旧禄に戻し、郡奉行支配下に置くと申し渡される。そして文四郎は剣の腕をあげ、熊野神社の奉納試合で、興津新之丞を破り、「秘剣村雨」の極意を受けるほどになつていった。

秘剣を伝えるのが、かつての名家老の加治織部正である。文四郎は、織部正から父の切腹事件が藩政の主導権争いから生じたことを聞く。ふくはそのころ、藩主のお手がつき、お福になつていった。

藩の世継ぎに絡む政争に巻き込まれ、金井村の外れにある櫛御殿に来ていたのである。そこで出産した母子を、里村次席家老一派は、母子の抹殺を謀る。その役を文四郎に命じ

たのである。そのため復讐であった。陰謀を知った文四郎は、織部正の助けで窮地を脱し、母子を救う。逸平や与之助が協力してくれた。

そして20余年後、人目を避けた海辺の湯宿で、尼になろうとしているお福と、牧助左衛門（文四郎）が短い対面をする。

蛇に噛まれた少女の指や、夜祭りの見物を回想する。「文四郎の御子が私の子で、私の子どもが文四郎さんの御子であるような道はなかったのでしょうか」

「それができなかったことを、それがし、生涯の悔いとしております」
「ほんとうに?」
「うれしい。でも、きつとこういふふうになるのですね。この世に悔いの持たぬひとなどいないでしょうから。はかない世の中・・・」

里松林の蟬しぐれが、耳を聳するばかりに助左衛門をつつんでいた。

「日本の祭り選定の証・古郡神楽」 4月23日(土)午後6時再放送、BS12



古郡神楽の特別番組が4月23日(土)18時~18時55分に、BS12「トゥエル」(BS12チャンネル)で再放送されます。

古郡神楽は、ダイトグループから「日本の祭り」で昨年12月22日、鶴岡市に初めて、「日本の祭り選定の証(しよ)」が贈られました。

高力忠兵衛の郷入り 江戸中期の財政難

民報前号を読んで、朝日・上田沢の岸井稔さんから編集部に電話がありました。

約340年前に、高力忠兵衛の郷入りを受け入れたのは、我が家の先祖で、岸井新左衛門であり、「朝日村史」にも書かれているのとこのことです。

「郷入り」は、庄内藩で行われた刑罰で、山間僻地での幽閉＝藩内流刑のことです。

相馬半兵衛の訴状

忠兵衛が郡代（藩の農政と財政の役職）に就任して6年間で、4、5千軒の潰れ百姓が出たと記されています。

農村の疲弊は、江戸勤めの忠義（忠勝・忠当に次ぐ3代藩主）にも知らされ、1681年（天和元年）5月に、相馬半兵衛（藤島三和・相馬一廣家3代目）が、来庄中の幕府巡検使に訴状を提出し、同年9月に忠兵衛は罷免され、朝日上田沢に郷入りを命じられました。

苛政の一方で蓄財にも励み、忠兵衛が所有していた田畑は、現在三川町の横山と猪子、成田新田に40町歩以上もあったとされます。忠兵衛は郷入り中の1683年（天和3）に死去しました。

財政難から家臣に与える米をカット

江戸中期の庄内藩はどうだったのでしょうか。

鶴岡市史編纂委員の本間勝喜氏は、ある会報に次のように書いています。

「元禄時代の直前の1680年代に庄内藩は財政難となり、家臣に与える物成米（ものなりまい・農民からの年貢米）の一部をカットする上米（あげまい）が元禄3年（1690）に始まり、一次期を除けば幕末・維新期まで続くこととなった。時には物成米すべてを取り上げ、食料と小遣だけを与える御賄（おまかない）ということ

も何度もあった。

財政難を打開するため、享保改革をはじめ何度か財政改革にも取り組まれたが、抜本的な改革にはならなかった。」

家宝を質入れ

4代藩主忠真の代になると、元禄時代になり、江戸での贅沢な暮らしとなり。国元から1707年（宝永4）12月、家老3人の連名で、儉約を申し出る諫言書が出されましたが、忠真は聞き入れなかったため、庄内藩はいつそう財政難になりました。

初代忠勝の家宝を、金1000両で質入れする始末でした。

ひと

日下部勇一（庄内町横島）

波瀾（乱）万丈の人生

青山 崇

■1000人安保廃棄大学習会



昔の「かまぼこ体育館」2005（平成17）年解体

1969年6月9日、鶴岡市体育館で、安保学校集大成の1000人が結集する大学習会を開くことにした。

安保3人男の腕の見せ所である。

3人男は策をねった。市職労・笹山一夫、今間芳組・佐藤一雄、富

大反響があった。筆者の子どもたちは、「どこもお父さんがいる」と騒いだ。ベニヤ板に講師で、三上正良氏と並んで私・青山崇の氏名が書かれていたからである。

三上氏は日本ジャーナリスト会議事務局長。私は「日本列島改造論で庄内はどうなる」の演題で前座を勤めた。

③オルグを積極的にやる。勇一が運転するバイクの後ろに一雄をのせ、資料は、後ろの一雄の腹と勇一の背中で挟んでやる。

新しい野党共闘で

先日、国民民主党の車がテープを流しながら走った。何を語ったのか多くは分からないが、消費税を5%に引き下げる話は分かったツケ。しかし、この党も自分も自公が作った予算案に賛成したんだから、その言い方はないでしょう。今の自公のやり方全てを認めたらんだから。消費税は10%の積算だろうし、今更選挙民を惑わすんですか。

▲この方、前回の立候補時は、反自民での演説会。会場満杯で選挙に勢いがつき、開票では全国で一番早く当確が出たんでしたヨな。思い出すでしょ。共産党の県委員会にお陰様で・と挨拶に見えたとの報道だった。

▲前回・新人の皆川さんを推して鶴岡市政を自民党から取ったのに、

だ。勇一の頭上に一雄の顔が出る格好になり、凹凸コンビと名がつき有名になった。

また、農村青年に電報で訴えた。ある母親は、せがれやせがれ、わざわざ電報来た。何が悪いごどもしたがと、田植最中の我が子の田に駆けつけた、との後日談で皆大笑いした。当日は目標を超えて満員となった。

私も前座で話をしたが、うなずくあの顔の顔が、壇上からよく見えて感激した。

今回は皆川さんを敵にした鶴岡の国民民主党にも、一体何があったんだろうかと思議に思うのは俺一人ではなからうと思うんだが。

▲国の予算に賛成し自公を全て認めた形だから、野党共闘の芽が無くなったんだが、県の自民党は何を喜んだのか現在、参院選で対抗馬を立てない模様だぜ。

▲国民民主の支持団体は労働組合の連合。連合の代表に初めて女性がついたが、共産党とは一線を画すと言ったものだから、反応は色々じゃないですか。

▲連合の旗開きでは、自民党には壇上から祝辞を頂いたが、立民も国民も壇上には上がらせなかったとか。急に自民党（経営者側）と仲良くするんだらうか。労働者を連れて連合は何処に行くんだらう。自民党にお願いして待遇改善を図るんだらうか。（石川）

